



築上町制施行10周年記念式典開催

住みたくなる町を目指し、新たな築上町のスタート

平成28年1月10日に合併10周年を迎えた築上町。旧椎田町と旧築城町の2町合併により、現在の築上町が誕生しました。合併当初は、地域性等の違いがある中で期待や不安が入り混じった気持ちがあったことと思います。町はこの10年間、一体感の醸成とそれぞれの地域の歴史、文化、伝統を尊重し、各地域の特徴を生かしながらまちづくりを推めて参りました。

1月17日には、ソピアとコマーレを会場に築上町制施行10周年記念式典が挙行されました。



本町は1月10日で合併10周年を迎え、10年一区切りで11年目にあたり新たな築上町としてのスタートを切りました。

1月17日、ソピアで多くの出席者の中、築上町制施行10周年記念式典を厳粛且つ盛大に開催しました。私の式辞では紆余曲折のあった合併であったこと、また合併後の逼迫した町財政と建て直しについて述べさせていただきます。

10年間を振り返りますと、行財政改革による人件費の節減、各種制度の見直し等々を行った結果、積立金約40億円増、借金約50億円減を実施できたこと。10年間で必要とされる社会資本の整備として、財政を調整しながら下水道整備計画による事業実施、並びに新しい火葬場やソピアを建設したことです。

今後の課題としては学校の建て替えを始め教育の充実、合併特例債の有効期限内に新庁舎の建築が残っておりますし、地方創生事業でまちづくり・人づくり・仕事づくりを本町の個性を生かした地方創生に着手しています。

来賓の県知事代理の山崎副知事、武田衆議院議員、山本衆議院議員、松山参議院議員、大家参議院議員、野田参議院議員、築城基地今瀬基地司令、西元県議会議員からご祝辞をいただきました。

そして、町表彰条例に基づき町議会議員・農業委員会委員・自治会長・社会教育委員・スポーツ推進委員の方々に功労者表彰並びに町への寄付者の方々に善行表彰を行いました。

記念講演では旧蔵内邸ゆかりの県議会議員蔵内勇夫氏に「築上に期待すること」と題して講演をしていただきました。「築上町は、自然・文化の宝庫であり、これを如何に生かすのか。また今まで残された未開発の部分の逆手にとって活性化に繋がたらよい」とお話されました。

第2部はコマーレで航空自衛隊西部航空音楽隊を招聘して記念演奏会を開催し、350名の参加があり、合併を祝っていただきました。

10年を一区切りとして2年次目になります。更なる築上町の発展に町民の皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。